

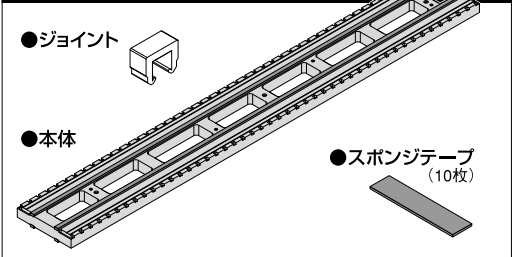
防風パッキンL120・L105

防風パッキンL105・L120

■設計施工時の注意事項

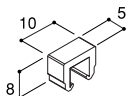
- 本製品は玄関廻りや勝手口廻りなど、床下換気口を必要としない部分の基礎上に隙間なく敷き詰めるためのパッキンです。設計者とよくご相談の上換気が必要な箇所には敷設しないでください。
- 防風パッキンL105・L120を使用する以外にはフクビ土台パッキンを使用します。その際は土台パッキンに付属の施工説明書に従ってください。
- 必ず「土台側」と書かれた面を上面としてご使用ください。守られない場合、土台がめり込む恐れがあります。
- アカマツ、クロマツ、ベイマツおよび広葉樹等の、めり込み基準強度 F_{cv} が $8.1N/mm^2$ を超える土台を使用する場合は構造計算が必要となります。弊社までご相談ください。
- 防風パッキンは左右を反転させることでアンカーボルト穴位置が入れ替わります。最も適した向きにてお使いください。

■構成部材



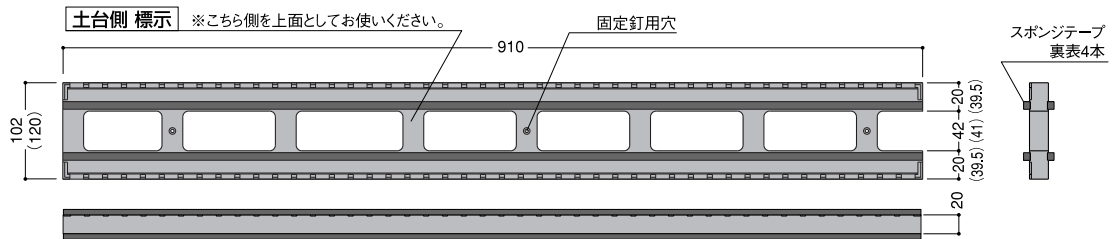
■製品図

●ジョイント



●防風パッキンL105 (L120) S=1/8

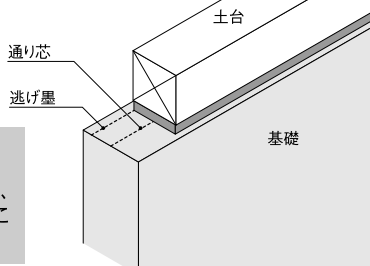
※ () 内寸法は、防風パッキンL120の寸法を示します。



■施工手順

①防風パッキンの敷設

- パッキンは芯合わせ、土台面(つら)合わせのどちらかで施工し隙間なく敷設していきます。



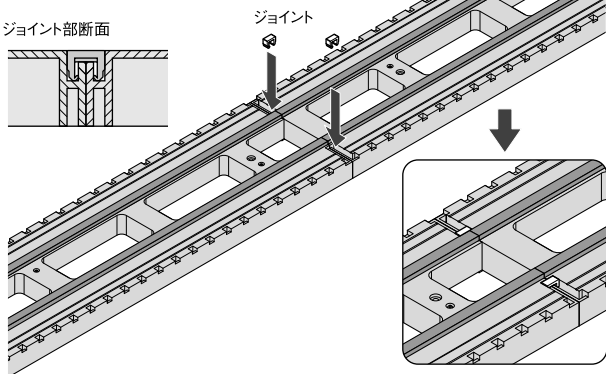
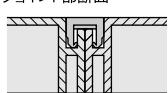
⚠注意

- 防風パッキンL105・L120に、土台を介さず直接柱を立てることは禁止します。

②ジョイントの取り付け

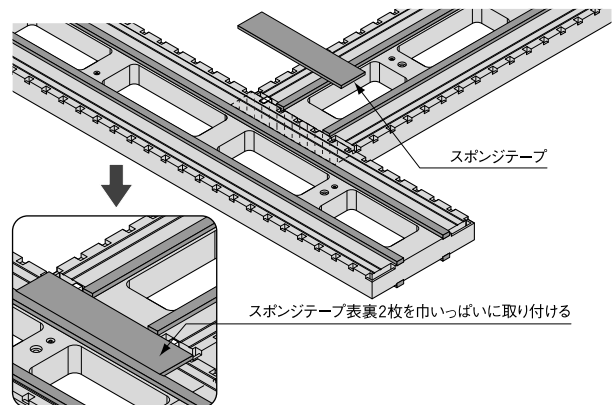
- ジョイントを上から押し込んでジョイントとパッキンを嵌ませ、ズレ防止を図ってください。

ジョイント部断面



③コーナー部、T字部の処理

- ジョイント取り付け箇所を定めた後、下図斜線の位置に表裏2枚のスポンジテープを取り付けてから敷設してください。

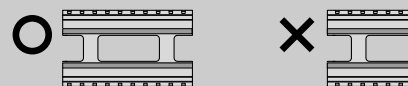


④切断部およびジョイント

- 切断する場合はまっすぐ切断してください。また施工上スキ間が生じた部分は、付属のスポンジテープで塞いでください。

⚠注意

- 安全性保持のため、はしご部分が2個以上ない状態に切断されたパッキンは使用禁止。



⑤全体図

